

京王バス南
沿線おでかけ情報版
第37号
編集・発行
情報誌委員会

今回の特集は「バス停」特集です。

① 九反甫公園バス停
くたんぼこうえん

バス停名を見ると、そこに何があるかすぐに分かる事が多いと思いますが、中には珍しい名前のバス停や、昔あった物が無くなり、今はバス停の名前だけがその名を残し、昔を知らない人はこのバス停はなんでこの名前なんだろう?と思う事があると思います。

今回は珍しい名前のバス停の特集です。

2つの名前を持つ九反甫公園。バス停名は「くたんぼ公園」ですが歩道橋や案内版には「くたんぼ歩道橋」「くたんぼ公園」と書いてあります。

何故バス停名と歩道橋名と案内版の名前が違うのか調べてみました。

案内版と歩道橋は「くたんぼ」バス停名は「くたんぼ」



南大沢駅 1 番乗り場
南 51・52
南大沢団地循環

<主な内容>

- P 2 浄瑠璃緑地下
- P 3 夾竹桃公園 六万坊
- P 4 堰場

▼本紙では、毎号当社バス路線沿線の情報を皆さまにお伝えしています。さて今回の特集は「バス停特集」です。

九反甫公園にある説明版には、九反甫の由来として、昔このあたりには「みの田とよばれる小さな田んぼがたくさんあったそうです。その面積を合わせると九反歩くらいあったので「クタンポ(九反歩)」と言われるようになったとか。「田植えを終えて、さて帰ろうかと思ひ、みのを取り上げたその下に田植えの済んでいない田んぼがまたひとつあった」という話が残っているように、田んぼがたくさんある様子を「九」という数字で表し、「クタンポ」と呼ぶようになったとも言われています。またこの地方には、昔「サルトリイバラ」というユリ科の植物が多く生えており、薬用として使われていたり、丸い葉はもちを包むのに使用されました。この植物は「タマンバラ」とか「クタンポ」と呼ばれていたそうで、「クタンバラ」が変化して「クタンポ」と、このあたりを呼ぶようになったとも言われています。

このように名前の由来は、はっきりとは分かっておりません。そのせいで2つの名前がある公園が登場したのかも知れません



九反甫公園内

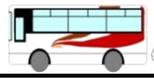


九反甫の由来

この近くには「小山内裏公園」もあり、公園内にある大きな滑り台でたくさんのお子様がお遊んでおります。公園内の階段を登ると、木々が生い茂る道になり、さっきまで見えていた町並みが一瞬で消え、高尾山をハイキングしているような気分になります。休日はお子様を連れて遊び、大人は森林浴を楽しみ気分をリフレッシュすることもできます。



□ご感想や当社路線沿線の耳よりな情報などがございましたら、左記までハガキでお寄せください。
〒192-0364
八王子市南大沢5-26-1
京王バス南(株)・南大沢営業所
「情報誌委員会」担当 あて



② 夾竹桃公園バス停



平山城址公園駅から

北野駅に向かう南陽台線。

東京薬科大学の次の

バス停が「夾竹桃公園」

です。

名前の如く公園がある
のですが、この公園に
一番多く植えられている

のが「夾竹桃」と
いう植物です。



平山城址公園駅
平 03 北野駅北口(南口)行
北野駅北口(南口)
平 03 平山城址公園駅行

聞き慣れない名前ですが、インド原産のキョウチクトウ科の植物で、中国を経て日本には江戸時代に伝来されました。葉は竹の葉・花は桃の花に似ている事が、その由来です。

花は美しく、6月〜9月頃まで咲きます。

環境に非常に強く、広島原爆投下の際、被爆焦土に最初に咲いた花として原爆復興のシンボルとして広島市の花にも指定されています。

但し夾竹桃は毒性があるので、決して食べたりにしないように！



③ 六万坊バス停



「八王子駅南口から3ツ目にあるのが「六万坊」バス停です。

名前の由来は、「六万部の経文と刀剣をおさめた祠があった」「たくさんのお寺があった」等諸説ありますが、実ははっきりとは分かっておりません。

また近く(子安市民センター付近)には「滝不動尊」があり、黒竜王がご本尊として祀られております。

昔は泉が豊富に湧出す滝もあり、滝修行も行われていたそうですが、現在はお不動様の裏側にある小さな水路に湧水が流れています。



八王子駅南口1・2番乗り場
八 60・八 65・八 66・八 69
南大沢・由木折返場・片倉台・
八王子みなみ野行

バス停名称が入った近くの公園



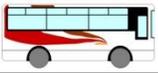
ちよっと不思議な

バス停



聖蹟桜ヶ丘駅から南大沢方向に進むと、一の宮ストアというバス停があります。しかし周りを見渡してもそんな名前のお店は見当たりません。

実はある場所に一の宮ストアという八百屋さんがあったそうです。現在は某コンビニですがその名称をバス停にしたそうです。



この石碑は長池公園内にあります。見附橋バス停下車



「見附橋」
京王堀之内駅 4 番乗り場
堀 01・02 見附橋循環
南大沢駅 2 番乗り場
堀 03 京王堀之内駅行

昔、相州大磯の海面に光る薬師如来像を引き上げ相模国の城主岡崎四郎に献上、崇拝し浄瑠璃姫が生まれたとされている。浄瑠璃姫は武蔵国の小山田高家に興入れた際に薬師如来像を譲り受け、一三三六の湊川の戦いで高家が討ち死にしたため浄瑠璃姫も後を追って薬師如来像を背負って長池に入水した。その後蓮正寺の住職が光る薬師如来像を引き上げ、薬師堂を建てて供養したという伝説である。(現地案内板より引用・諸説あります)

長池伝説
バス停名の由来
ちよっと長くて呼びにくいのですが浄瑠璃緑地という細長い緑道がそばにあります。長池伝説に登場する浄瑠璃姫に因んでつけられたものと考えられます。



④ 浄瑠璃緑地下バス停
じょうりりりよくらした

京王堀之内駅 4 番乗り場
堀 01・02
見附橋循環

浄瑠璃緑地下バス停付近のおすすめスポット

このバス停付近は長池公園・蓮正寺公園・別所公園やせせらぎ緑道など自然が溢れる散歩やウォーキングの人気スポットです。またお弁当を用意して芝生でくつろいだり、各スポットを回れば一日楽しめるエリアです。緑がたくさんあるので暑い夏も少しは涼しく過ごせますよ。

蓮正寺公園

園内はアップダウンが大きく、眼鏡橋や吊り橋、展望台などがあります。公園の南東口には公園の由来となった蓮正寺があります。

蓮正寺公園最寄のバス停
「松木小学校入口」
京王堀之内駅 5 番乗り場
堀 03 南大沢駅行き
南大沢駅 2 番乗り場
堀 03 京王堀之内駅行き



別所公園

とても広くてきれいな傾斜のある芝生が特徴の公園です。

別所公園最寄のバス停
「別所谷戸」
京王堀之内駅 4 番乗り場
堀 01・02 見附橋循環



せせらぎ緑道

京王堀之内駅近くから長池公園まで延びる全長 1.7 km の人工的な水路です。住宅地の間を通り抜ける自然と現代的な雰囲気がある歩道です。



長池公園

四ツ谷見附橋を移設再建してできた長池見附橋がシンボルです。広い芝生とたくさんの昆虫や植物などを観察できる雑木林などもあり、八王子市が熱心に自然保存に取り組んでいる公園です。園内の長池公園自然館には資料がありますので、公園に着いたら、まずそこに立ち寄ってから散策をお楽しみ下さい。



多摩都市モノレールの「大塚・帝京大学駅」に乗り換え可能です。



「堰場」堀桜
 聖蹟桜ヶ丘駅1番乗り場
 桜88 京王堀之内駅行
 京王堀之内駅3番乗り場
 桜88 聖蹟桜ヶ丘駅行

多摩都市モノレールやバスに乗ると立川・高幡不動・豊田・南大沢・京王堀之内・多摩センター・聖蹟桜ヶ丘等のたくさんの町に乗り換えなしで移動できる便利な場所ですが、なぜ堰場と名前がついたのでしょうか？
 歴史を調べると堰普請(セキプシン)という田に水を引く溝が関係しているようです。
 苗代を作る前の4月下旬から5月の初旬にかけて、川をせき止め田んぼに水を引き込む「堰」を作る。取水期間中は田んぼに常に、水が入っているか確認し稲穂が実り始める頃に取水口を閉めるといった事を行っていたようです。
 川の流域には、大小の「堰」が沢山あったそうですが、特に堰場付近にあった「堰」がこの地域では最も大きいものであったそうです。



⑤ 堰場バス停

「堰場」由木桜
 聖蹟桜ヶ丘駅1番乗り場
 桜80・83 南大沢駅行
 南大沢駅5番乗り場
 桜80・83 聖蹟桜ヶ丘駅行

今では堰普請も行われなくなり、名前だけが残っておりますが、バス停名を通じて、昔行われていた農作業を知ることができます。堰場付近に住んでいる乗務員の話によると、昔は川で泳いだり、水遊びをしていたそうです。

昔のバス停
 「南大沢2丁目」

毎度、「京王バスかわら版」をご愛読頂き、ありがとうございます。

「次は、南大沢2丁目」です。と、言う事で、読者諸兄は「南大沢2丁目」というバス停があった事はご存知でしょうか？

南大沢駅を発車して、信号を右折するバスは、次が南大沢4丁目バス停ですが、その昔、この南大沢4丁目の前に存在していました。

場所は今のフレスコ南大沢の前。
 まだ京王線が多摩センター駅止まりの頃、多摩センター駅から南大沢団地までのバス路線があり、ニュータウン通りを南下してきたバスは、南大沢4丁目の陸橋を駆け上がり、左折。南大沢4丁目バス停を過ぎ、また左折。南大沢2丁目のバス停を通り、大平公園方向に向かっていました。

その後、京王線が橋本まで延伸され、南大沢駅が誕生し、「南大沢2丁目」バス停はその役目を

南大沢駅に譲り廃止されました。現在は誰の記憶からも消滅したバス停ですが、駅ができるまで頑張り続けた証が、昔の路線図にはしっかりと刻まれています。

